

平成 30 年 3 月 6 日

各 位

沼津信用金庫

### 「第 3 回地域防災企画展」の実施について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 7 年が経過します。災害直後の現場では、生活インフラが壊滅し、物資不足や雪の影響等極限状況の中、懸命な救助活動が行われ、全国各地からのボランティアも大きな力となりました。このような中、自らも被災しながら懸命に現地での金融サービスを再開し地域住民・社会に対する責任・使命を発揮したのは信用金庫の役職員でありました。

大震災から 7 年を経過するにあたり、「第 3 回地域防災企画展」と題して、本店西側ショウウィンドウに復興庁パネルデータによる資料の展示等 3 月 6 日(火)～30 日(金)まで、また本店ロビーに昨年起きた九州北部豪雨に関する写真資料の展示を 3 月 6 日(火)～16 日(金)まで、宮城県の東日本大震災復興パネルを 3 月 19 日(月)～30 日(金)まで展示するとともに各営業店にはポスターを配布し、ぬましんからのメッセージとして掲示することといたしました。

この沼津市周辺でも、歴史を振り返ると地震により大きな被害を受けたことがあります。1854 年、推定マグニチュード 8.4 という「安政東海地震」が発生し、全国に甚大な被害をもたらしました。震源地が熊野灘・遠州灘沖から駿河湾にかけてのものであったため、静岡県は特に大きな被害がでました。

今般、明治史料館様や沼津市役所危機管理課様、沼津市片浜地区センター厚見様より「安政東海地震」や「地域防災」「九州北部豪雨」等に関する貴重な資料をお借りすることができました。ご覧いただき、改めて地震や津波、豪雨の恐ろしさを感じていただくとともに防災への意識に繋げていただければ幸いです。

震災はいつ、どこで発生するのか予想はできません。東海地域、まさに私たちが暮らしている静岡県は特にその危険と隣り合わせであることを忘れてはなりません。当金庫のみならず当金庫のお客様、ひいては当地域全体に対して「防災」はもちろんのこと「減災」への取組みに貢献していく必要があります。

この機会に、過去の災害を風化させることなく次の災害に活かしていくように努めていただきたいと思います。

以 上